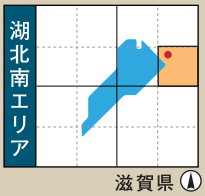
名勝
国指定

福田寺庭園

ふくでんじていえん

近江町長沢　昭和49年11月26日指定



福田寺の境内には、湖北の一向宗の中心寺院として、信長との壮絶な戦いを繰り広げた歴史を物語る「殉教万人塚」が残され、この寺のたどった激動の歴史を伝えています。巨石を豪快に立てた福田寺庭園は、寺院という静かなイメージとは違う、激しさを感じさせる名園です。

当時のできごと	
1339年	等持院・天竜寺創建
1499年	蓮如没す
1570年	姉川の戦い

福田寺について

福田寺は、山号を「布施山」といい、現在の伽藍の東の布施に、湖北の古代豪族息長布施王のため、僧三修（京極氏遺跡：学習シートNo.033）の高弟名超童子が、大安寺の末寺として建立したのに始まるといわれています。また、役小角の開山伝説もあります。

その後、法相宗から浄土真宗に変わり、延元4年（1339）に善顕が布施の地にあった堂塔の全てを現在地に移し、寺名も「福田寺」に改めました。一向宗の有力寺院として栄え、本願寺中興の祖蓮如が3年も滞在しています。元亀元年（1570）福田寺は顕如の命により一揆を起こし、湖北10ヶ寺の中心として、浅井氏と共に信長と激しい戦いを繰り広げました（小谷城跡：学習シートNo.034・清水山城館跡：学習シートNo.038）。



福田寺庭園



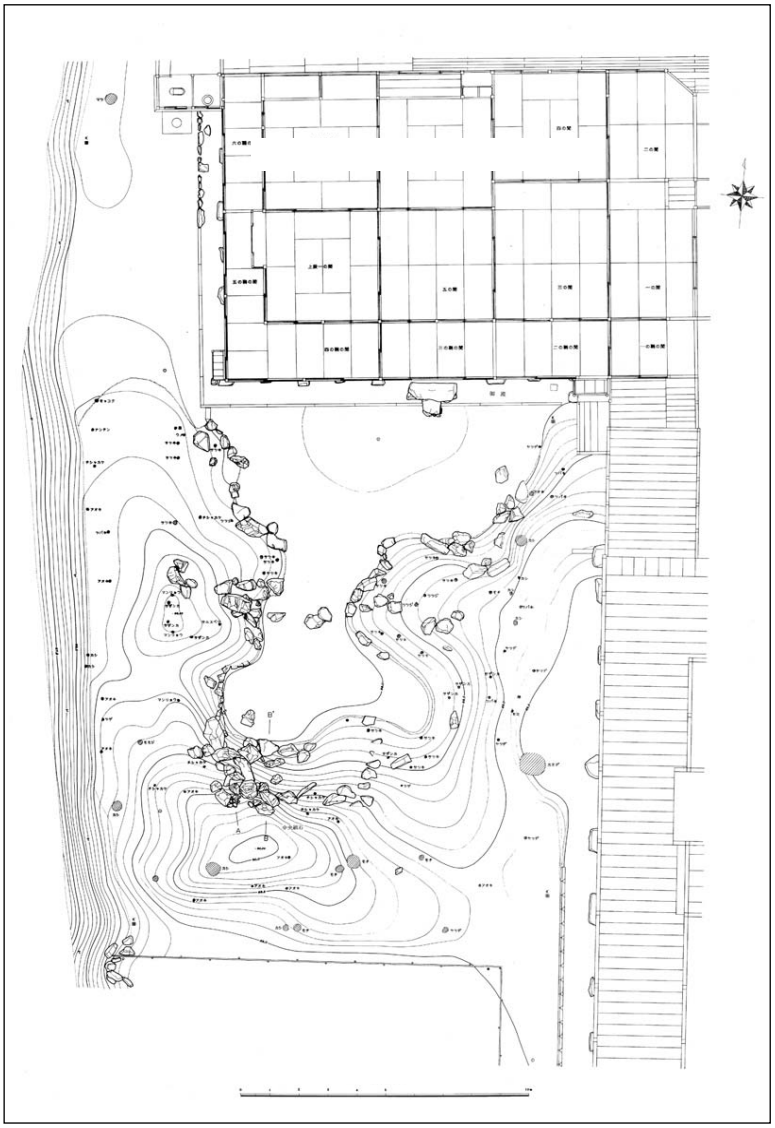
福田寺庭園　立石

福田寺庭園について

福田寺庭園は、小谷城の建物を移したと伝えられる書院（滋賀県指定文化財）の南にある、池庭式の枯山水庭園です。築庭の時期は、江戸時代の初期と考えられています。500㎡程のこじんまりとした庭なのですが、書院前面に枯池を広くとり、奥行きが深く、実際より相当広い印象を受けます。枯池の奥には巨石を組み上げた豪快な枯滝を配します。景となる立石は程良く前傾し緊張感の溢れる構成となっています。枯滝の左右に延びる築山は一転して穏やかに広がり、程良い配石と共に主景の枯滝の力強さを際だたせています。また、庭の背後には人工的な仕切りがなく、自然の林となっており、この深い緑が明るい色調の景石を浮き立たせ、この庭の奥行きを一層広げています。福田寺庭園は、石の持つ表情を最大限に引き出した庭であり、動かぬ石が、この寺がたどった激動の歴史を静かに語りかけているようです。



立石を側面より見る



福田寺庭園実測図

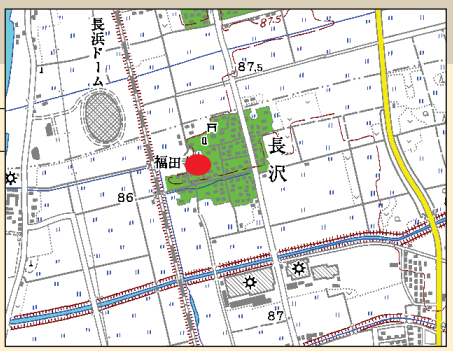
関連する文化財

福田寺書院（県文）	小谷城から移されたと伝えられている建物
県名勝来照寺庭園（近江町）	学習シートNo.101
名勝青岸寺庭園（米原町）	学習シートNo.087

もっと深く知りたい

近江町はにわ館	☎0749-52-5246　坂田郡近江町顔戸281-1
近江町教育委員会	☎0749-52-3483　坂田郡近江町大字顔戸488-3

福田寺庭園へのアクセス　JR北陸本線　田村駅下車



【参考文献】〔日本庭園史体系〕社会思想社　〔滋賀の美 庭〕京都新聞社

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月